

■ 『人・もの・地域』と出会い、ふれあい、高め合おう！（草津第二小学校）

1 【活動の趣旨】

本校に通うこどもの約9割がマンションに居住し核家族で生活しており、様々な世代の方とのつながりをもつことが難しい。そこで学習の中で、地域の方や様々な立場の方の話を聞いたり交流したりすることで、地域とつながり、愛着をもち、進んで地域と関わろうとするこどもの育成を目指している。

2 【特徴的な活動内容】

○ 「お店体験」

3年生では、地域の商店街や商業施設のお店にご協力いただき、こどもたちがお店での仕事を体験した。銀行、和菓子店、呉服店、種苗店、書店、コンビニ、スーパーなど様々なお店での体験を通して、仕事の大変さや楽しさを学び、地域への愛着を深めることができた。



【 お店体験 】

○ 「昔遊びを楽しもう」

1年生「生活科」の学習で、地域の方（小汐井シニアーズ、更生保護女性会）に教えていただきながら、昔の遊びに取り組んだ。けん玉、あやとり、お手玉、めんこ、こまなど普段経験しない遊びを一緒に楽しむ姿が見られた。こどもたちからは、「上手にできるようになって嬉しかった」「楽しかった」などの声が聞かれた。



【 昔遊び 】

3 【実施に当たっての工夫】

校外での「お店体験」については、地域コーディネーターが依頼をした上で各学年担当が改めて直接出向き、日程や内容を調整することで、充実した活動ができるように工夫している。体験の内容や学習のめあてをはっきりさせることで、こどもたちも意欲的に取り組めるよう働きかけることができた。

校内での「昔遊び」については、場の設定を工夫したり時間を十分に確保したりすることで、準備した全ての遊びを体験し、地域の方と関わることもできた。

4 【事業の成果】

各学年の発達段階に応じて、地域の様々な人・もの・ことがらとの関わりを通して地域に親しみをもち、自分の学びを深めることができた。

「お店体験」では、自分たちの地域には衣食住に関する様々なお店があることを知り、それぞれの仕事を体験することで、働くことのよさや苦勞を学ぶことができた。また、地域で働く方々に、本校のこどもたちについて知ってもらいよい機会となった。

「昔遊び」も、普段あまり関わりのない年代の方と触れ合うよい経験となった。

5 【事業の今後の展望】

地域の方に「体験させていただく」「教えていただく」などの受け身の形での学習が多かったが、今年度は地域の方を招待しての活動にも取り組むことができた。今後も、こどもたちから発信できるような学習や活動を考えていきたい。